

とれどかにあはれ

Trait d'union

No.75/2024-4



- SFC西日本支部補習講座 エスペランサ靴学院見学 & マイ・レザーสลリッパ製作 2-5
- SFC東日本支部補習講座 24年春夏のトレンドを読む 6-7
- SFC東日本支部補習講座 靴のデザインと機能性 8-9
- 新マスター・オブ・シューフィッティング紹介⑥ 10-11
- トラブル対処法(特別編) ③小学生における細靴の履き方調査 12-15
- IVO福島大会 シューフィッター全国研修会 報告 16-17
- 簡易計測技術を向上させよう! 18-19
- 事務局だより 20



日本最北端シューフィッター

株式会社チヨダ
シュープラザ旭川豊岡店
渡邊 憲一 氏



日本最南端シューフィッター

株式会社チヨダ
東京靴流通センター石垣島店
草野 雄二 氏

エスペランサ靴学院見学 & マイ・レザーสลリッパ製作

講師：大山 一哲 氏

(エスペランサ靴学院 学院長、株式会社ロカシュー代表取締役、西成製靴塾 塾長、西成高校靴づくり部 創設者)

報告者 SFC西日本支部 副支部長 大持 賢二



出来上がったスリッパを持って記念撮影

2月14日に実施したSFC西日本支部の第3回補習講座は、①マイ・レザーสลリッパ製作、②エスペランサ靴学院見学、③大山学院長による講演「靴業界の古今東西」の三本立てでした。

今回は受講生が革とふれ合い、ものづくりの楽しさを体験し、大山氏の情熱とバイタリティ、そして優しさが伝わる満足度が高い講座になりました。

①マイ・レザーสลリッパ製作

始めに大山学院長から手順を説明していただき、事前に研修した支部員が受講生をフォローしました。



完成品を手に説明する大山学院長

手順1. 革と糸を選びます



たくさんの種類の革を用意していただきました



糸には蠟をしみこませてあります



製作のフォローする支部員

手順2. 型紙通りに革に線引きし、ハサミで切り抜き、ポンチで縫穴を開けます



型紙から革に線を引きます



型紙を革に重ねて、
ポンチで糸を通すための穴を開けます



革のパーツがそろいました

手順3. アッパーと中底を糸で縫います



ズレないようにアッパーと中底をクリップ留めて、
最初だけ返し縫いします



以降はシングル波縫いです



ひたすら縫います

手順4. 中底の下にクッション材などを配置し、本底と貼り合わせて完成



刷毛で中底と表底の両面に接着剤を塗ります



完成しました!

②エスペランサ靴学院見学

スリッパ製作中に、班に分かれて順番に工房を見学しました。



エスペランサ靴学院は、
A'ワーク創造館内にあります



この木製看板は浅草から
移設されたものです



見学前にPRは
欠かせません



卒業を控えた学生さんが集大成の作品を製靴中でした



充実のカリキュラム。
シューフィッター養成講座
プライマリーコースも受講します!



階段踊り場には、
靴づくりの工程やカリキュラムなど
様々な写真が掲示されています



一階には靴修理の実習室があり、
「練習用」のラベルが貼られた靴がたくさんあります



③講演「靴業界の古今東西」

靴産業の歴史について

靴産業創設期		
靴産業ヒストリー	世界靴産業ヒストリー	社会の流れ
1861年 オランダ人の靴工、レマルシャンが横浜に靴工場を開く	1858年後 アメリカで靴産業が最大の産業になる。	1853年 ペリー（黒船）来航
1861年 徳川幕府がフランス式軍事訓練、砲撃を導入する	1864年G・マックイがマックイ縫製機を発売	1854年 日米和親条約締結
1865年 徳川幕府、初めて靴を履く	1879年 クッドイヤー式製靴機発明	1861年 アメリカ南北戦争
1870年 高村錦三、伊勢物産靴場を開く		1861年 イタリア王国建国
1872年 箱根大生産		1868年 明治改元、江戸から東京へ
1877年 西郷戦争により軍靴需要増大		1869年 スエズ運河開通
1884年 大塚商店ロンドン万国博覧会に出品		1869年 第18代グラント大統領
1887年 桜組、初めて国産革と革靴を輸出	1895年 米小売店が既成靴のサイズ・ウィズを制定	ヘンリー・ウィルソン副大統領
		1873年 蘭貨物が受け入れられる
		1877年 西郷戦争
		1878年 バリ万国博覧会に日本参加
		1885年 内閣制度、初代首相に伊藤博文
		1887年 ロンドンに靴学校創設
		1889年 バリ・エッセル塔建設
		1892年 バリでヴォーグ創刊
		1894年 日露戦争
		1896年 アテネで第1回オリンピック開催

産業変革期		
靴産業ヒストリー	世界靴産業ヒストリー	社会の流れ
1972年 厚底プラットフォーム大流行	1973年 インジェクションモールド製法開発	1972年 沖縄返還、日中国交正常化
1972年 アメリカ産靴店靴小売りの年商100億突破	1975年 ミラノコレクション開始	1973年 オイルショック
1973年 エスペランサ靴学院開校	1980年 阪谷登喜八リハビリデー	1978年 スウェーデンを抜き世界一の長寿国に
1974年 チョウ靴店が靴チェーン初の100店舗	1985年 東京コレクション開始	1978年 竹の子族登場
1976年 靴小売りの世界トップ、チェーン化も		1980年 イランイラク戦争
1982年 DCブランドブーム		1983年 東京デイズニールランド開業
1983年 JISで靴のサイズが制定され靴・はきちのサイズ統一		1984年 プラザ合意、円高へ
1984年 初の靴工業団地が奈良大和郡山に完成		1985年 阪神タイガース初の日本一
1985年 チョウ靴店が株式会社上場		1986年 チェルノブイリ原発事故
1985年 海外製靴店の出店ラッシュ		1988年 ソウルオリンピック
1985年 日本靴総合研究会シューフィッター養成講座開講		1989年 昭和天皇崩御、平成改元
1986年 皮革・革靴の輸入自由化関係副官(TO)に移行		1989年 消費税スタート、ベルリンの壁崩壊
1986年 東京シューフェアにヨーロッパの靴メーカーが初出席		1990年 バブル経済崩壊、東西ドイツ統一
1987年 第一回日本靴医学学会開催		
1987年 日本製靴（現リーガル）プロフェッショナルシューフィティングを書籍出版		
1989年 チョウ靴店が1000店舗達成		

※JLIA TIME&EFFORT Shoe Shoe Historyより一部抜粋

「日本の靴産業」、「世界の靴産業」、「社会の流れ」の三列を時代ごとに並べた珍しい年表を見せただけ、この中から黄色くマークした注目すべき項目について解説していただきました。その中でアメリカの靴産業が非常に盛んだった頃、第18代のグラント大統領とヘンリー・ウィルソン副大統領は、革屋と靴メーカーの出身だったという話が印象に残りました。また、日本の靴業界の力関係の変遷について以下のように説明していただきました。



時代によって「資材 → メーカー → 問屋（卸） → 小売り」とパワーバランスが変化していきました。

- ・ 1970～80年代はメーカー全盛時代で、作れば売れるし、作れることが強みでした。
- ・ その後2000年ころまで問屋が強くなっていき、百貨店に売場を展開して大量に発注することで、当初はメーカーと問屋がWin Winの関係でした。しかし、次第に問屋とメーカーの力関係に変化が生じるようになってきました。
- ・ それ以後現在に至るまで小売りが強くなり、メーカーと直接取引するようになってきました。
- ・ これからはプライベートブランドを持ったメーカーが強くなってくると予想されます。インバウンドの回復で、来日する外人からメイドイン・ジャパンの靴が大変注目を浴びています。やはり作れることは強みで、再びメーカーの時代になろうとしています。
- ・ 資材業者については時代を通して強かったが、不況や為替のあおりを受けて材料を調達しにくくなるなど、現在の日本は靴を作るのに適さない国になりつつあります。
- ・ 最近では、問屋が小売りをしたり、メーカーが小売りをしたり、問屋がメーカーを持ったり、垣根が無くなってきます。こうなると明確なコンセプトがある会社しか生き残れません。裏を返せば、明確なコンセプトがあれば勝ち抜いていきます！

エスペランサ靴学院について

1973年、東京浅草に設立されたエスペランサ靴学院は、日本初の靴づくりの学校でしたが、2019年8月に廃校が決まりました。

同校19期卒業生でもある大山氏は、同校のオーナー企業と交渉を重ねた結果、大山氏が学院長になり、同氏の会社であるロカシューが名称権と運営権を引き継ぐことをオーナー企業と合意し、大阪へ移転して再出発することになりました。2020年4月開校を目指していましたが、新型コロナの緊急事態宣言が発令され1年休校。翌年2021年に47期生（大阪校1期生）を迎えてスタートしました。そして2024年には50周年を迎えます。



同学院は「靴はもっと自由だ」がコンセプトです。特徴は講師陣をその道のプロが務めており、現役バリバリの講師から教わられます。1000人以上いる卒業生のOB・OGもまた靴業界の第一線で働いています。

また、職人としての技術だけでなく、原価計算・資金繰り・ブランディングといったビジネス感覚も身につけるカリキュラムも盛り込んでいます。SNS学という科目もあり、自分のファンを作ることを学びます。卒業生のレベルは高く、一年間での成長ぶりに他の学校の人が驚愕するほどです。

大阪府立西成高校「靴づくり部」をつくった想い

大山氏は、自身が塾長を勤める西成製靴塾の前を通って通学する生徒たちを見て、この子たちに靴を作る喜びを知ってもらえないだろうかと思うようになりました。

・西成高校の特殊性

生活的、社会的、職業的自立を目標に掲げる西成高校では、アルバイトをしている生徒が多く、夜働くので学校の始業時間に起きられず出席率が低い状況でした。そのため校長先生が大阪府に掛け合って始業時間を1時間遅らせたところ、格段に出席率が上がりました。

・生徒に寄り添って

僕にできることはないか、と考えた時に「生徒たちの居場所・よりどころを作りたい。」と強く思い「靴づくり部を作らせてください!」と西成高校に働きかけて実現しました。一心不乱に靴づくりに取り組む時間は辛いことを忘れさせてくれます。そんな心のよりどころを作りたいと、手弁当で教えに行っています。高校生が靴を作るクラブは世界初です!靴づくり部に入部したいから西成高校を選んだ。という生徒が出てきたら嬉しいですね。実際に少しずつ部員は増えていて、今年から部室として教室を1部屋使えるようになりました。

質疑応答

Q. エスペランサ靴学院について。これほどまでに密なカリキュラムをどうやって決めていますか。

A. 講師会で話し合っていて決めています。方針は"生徒ファースト" 我々には次年度もありますが、生徒にとってはその1年しかありません。

Q. エスペランサ靴学院について。各生徒の力量差にはどう対応していますか。

A. 11月頃までに全カリキュラムを終えて、残りの期間に個別対応します。各々の課題を克服し、卒業したら仕事できるレベルに持っていきます。

Q. 業界の展望について。オーダーシューズのラストも3Dプリンターで作るようになりますか。

A. 現状の3Dプリンターでもかなり硬いプラスチックで作れるので、1つのラストで3回くらいは靴を作れます。3Dデータを送って出力してもらい1万5千円くらいですが、木型メーカーにデータを送って削ってもらうとファーストオーダーで3~5万円くらいかかります。そのため、今のところ既製品に盛ったり削ったりといった修正をするのが主流です。しかし、3Dプリンターは急速に低価格化して安くなっています。プリントパックみたいなプリントサービスに頼むともっと安くなります。

オーダーシューズのラストは回を重ねて修正することでその人に合ってきます。また、足も変化するから“オーダーシューズのラストは3Dプリンターでその都度作るものである“という時代が3年以内に来ると思います。

まとめ

大山氏は講座の最後に以下のような希望を語ってくれました!

「靴業界の古今東西を話してきましたが、これからの靴メーカーは捨てたもんじゃないと思います。だから、こんな時代に私はメーカーを立ち上げようと思っています。すでにビジョンがあるので、これから面白い業界にしていきたいです。日本の靴業界は給料が安すぎます。年収500万円未満の人が大半です。好きだけでは続きません。まずは“500万円を突破し、1000万円くらいもらえる業界を目指します“そのような仕組みになるように、我々から仕掛けていきましょう。『買ってやってる』『売ってやってる』という関係は改め、これからは『一緒にやろう!』という『取り組みの時代』です。」



大山 一哲
(おおやま いってつ)
エスペランサ靴学院 学院長
株式会社ロカシュー代表取締役
西成製靴塾 塾長
西成高校靴づくり部 創設者

補習講座の日程および内容はHPをご確認ください。

HP



FHA/SFC
会員専用
ページ



※パスワードは裏表紙「事務局便り」をご確認ください。

24年春夏のトレンドを読む

講師：株式会社ジャルフック 岡村 嘉子 氏

2月2日東京 両国・国際ファッションセンターに、とれでゆにおんでもお馴染みのジャルフック岡村嘉子氏をお招きして「24年春夏のトレンドを読む」と題したトレンドセミナーを開催いたしました。シューフィッターにとっても欠かせない靴のトレンド情報をトピックでご紹介いたします。

1. street snapからシーズンを考える

カッターやヒール付きのミュール類といったエレガントな雰囲気アイテムが再び新鮮さを取り戻しています。デニムの復活を鑑みても、スタイリングのスパイス的なポジションを担う期待のカテゴリーとして捉えられます。

また、グルカサンダルやスポーツサンダルは、靴下とセットアップしたスタイリングが幅広い年齢層に見られるようになりました。

24/25AW JALFIC COLOR

「精彩な地球色を探る」

1	2	3	4	4	6	7	8	RUBY ●濃密なレッド エネルギッシュなインパクト 素材にカラーの活力 華やく色の高揚感
9	10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	24	STONE ●永遠性のモノクローム シンプルなモノクローム 色彩展開の結節点 深く染入るニュートラル
25	26	27	28	29	30	31	32	



2. 素材・カラー傾向

ベースとなるレザーはソフト感や光沢感がポイント。またシーズン性を発揮するものとして透け感のあるチュールや、洗練されたクラフト感を伝えるメッシュ、マクラメにも注目が集まります。

カラーはホワイトからベージュ、グレイジュに至る情感豊かなニュートラルは充実しています。また、ブラウンも拡大傾向です。アクセントカラーとしてはシルバーやゴールドといったメタリックが重要です。

マテリアル傾向： **光沢、ソフト感、軽やかさ**

- 艶やかなガラス、エナメル、メタリック
- 洗練されたクラフト感、メッシュやマクラメ
- 心地良さを体現するナッパ、ソフトなスムース
- 品の良いカジュアル感を漂わせる起毛素材
- センシャルな透け感の透過素材

3. シルエット傾向

トウラインに大きな変化はありません。モード感を表現するスクエアトゥはバラエティを拡げ、エレガンスアイテムが復調する中でポイントトゥが再び重要になります。ヒールも低寸～中の歩きやすい高さの範疇で、愛らしいキトゥンヒールのバラエティが登場します。

底周りのボリューム感は依然として重要だが、すっきりとした洗練されたシルエットへと変化しています。



4. ディテール&オーナメント傾向

ベルト&バックルやスタッズ等のメタルアクセサリへの期待が高いです。特にベルト&バックルはエレガンスアイテムからカジュアルなサンダルにまで共通するオーナメントとなっており、デザイン的な趣向の凝らされたものが多く登場しています。また、デニムやカーゴパンツといったカジュアルなボトムの足元にアクセサリ効果が期待される、華やかな装飾性も復活しています。リボンやビジュ、フラワーオーナメント等です。



5. アイテム傾向

引き続き酷暑が予想される春夏シーズンにあって期待されるのが、サンダル類、そして素足感覚で履くことができるモカシンです。これらは現状を踏まえ、素材やディテール等の仕様に新鮮さを仕掛けきちんとアップデートすることが重要です。さらに、久しぶりに華やかなオーナメントやポイントトゥのエレガンスアイテムに期待がかかります。これまでの変化に乏しい売場をカラーや装飾で刷新し、シューズならではの面白さを訴求したいところです。



岡村 嘉子 (おかむら よしこ)

大学卒業後、ジャルフィックに入社。新業態研究誌「Zerohour,」の編集に携わり、衣・食・住・遊にわたるさまざまな新概念ショップの取材・執筆を経験する。現在はシューズ&バッグに関する機関誌「JALFIC」の企画・編集及び、トレンドセミナーや海外見本市レポートセミナーなどで講演を行なう。流行情報センター(JAFCA)が発行する「流行色」にもシューズ&バッグトレンドについて執筆中。

靴のデザインと機能性

講師：株式会社リーガルコーポレーション 技術開発部 開発 田島 智司 氏

報告者 SFC東日本支部 増田 京子

2024年2月2日(金)「靴のデザインと機能性」というタイトルで開催した補習講座は各自デザイン画を描くなど実習も含めた講座でした。今回はその中でも田島智司氏の講演を中心にご紹介いたします。後日、HP「会員専用ページ」にて動画配信を行う予定です。そちらもぜひご覧ください。

はじめに

靴のデザインは立体的な靴型から平面に落とし込み(パターン作成)、パーツごとに分解してアッパーを作成していきます。その中でもライン、パターンなどの意匠部分に絞ってお話します。

靴はアッパーとソールに分けられます。それぞれに色、素材、意匠の要素があります。製造の工程は靴型にアッパーを合わせ、それぞれの製法により靴底につけていきます。当社は紳士靴がメインになっていますので、それに特化してお話いたします

紳士靴の定番デザイン

すべての靴のスタイルにはルーツがあります。基本となるスタイルを定番といい、そのスタイルや装飾は現在のデザインに受け継がれています。紳士靴のデザインは定番をアレンジすることで印象を変えていき、現在のように多彩なバリエーションが生まれてきました。主要なデザインを解説いたします。

バルモラル(内羽根)、ブラッチャー(外羽根)はレースシューズの基本デザインとなります。

モンクストラップとそこから派生したダブルモンクは、ベルトで固定するタイプで華やかさはありませんが、どちらもフォーマルには適しません。

サドルシューズは当社でも最も売れているデザインの一つです。アッパーに馬の鞍のような意匠があるのが特徴です。シンプルなデザインですが、色の組み合わせで様々なバリエーションができます。

ローファーはU字モカが特徴で、紐なしで脱ぎ履きできることから「なまげもの(ローファー)」とネーミングされました。現在は幅広く履かれており、コインローファー、ペニーローファーなどが代表的ですが、タッセルやビット付きのものもあります。本来はカジュアルなのでスーツには適しません、日本ではビジネススーツなどに合わせて履かれていることも多いです。

デザインについて

プレーントーはシンプルでつま先にデザインがありません。ストレートチップはつま先に一文字のラインがありフォーマル度が高いデザインになります。元々は先芯が目立たないように工夫したことが始まりと言われていました。当初は革を二重にかぶせて作っていたことから高い技術が必要とされ、これに敬意を払ったことでフォーマル度が高いと言われていました。一文字の入れ方でパンチドキャプトー、セミブローグなどのバリエーションがあります。

ウイングチップはつま先の切り替えが翼(ウイング)のような形をしているので名づけられました。その形状から「おかめ飾り」とも呼ばれます。基本的にはカジュアルですが、ビジネスシーンでも人気のあるデザインです。穴飾り(ブローグ)は本来通気性を確保するために開けられていました。外羽根、内羽根などによって多少の違いはありますが、相対的にカジュアルなシーンに用いることが多いデザインです。



Uチップはアッパーにモカシン縫いのステッチが施されていて、形状によりVチップなどのバリエーションもあり、縫い方にも様々なパターンがあります。カジュアルなスタイルと相性が良く、生産国によって様々な呼び方があります。足に合っていない場合、モカ部分に不均一な皺が入ることがあるのでシューフィッターの皆さまにはフィッティングの際には注意をしていただきたいデザインです。

サイドエラスティックはスリッポンの一種です。アッパーサイドにゴムをあしらったデザインで基本的にシューレースタイプのものが多いのですが、あまり店頭で見かけることはありません。特徴としてはサイドゴムにより脱ぎ履きがしやすいことです。内羽根デザインが多いので、クラシカルでエレガントな靴です。

チャッカブーツはポロ競技用としてデザインされました。くるぶしまでの深さで、紐で結ぶタイプになります。短靴でも完全なブーツとも違う特殊なデザインです。フォーマル感がありますが、カジュアルシューズとして様々なファッションに合う汎用性が高い靴です。

サイドゴアブーツは1830年代にロンドンの靴屋さんがヴィクトリア女王に注文を受けたことが始まりと言われています。日本へもかなり古い時期に入ってきており、坂本龍馬が履いていたと言われています。チェルシーブーツとも呼ばれ、ビートルズが履いていたことで1960年代に流行しました。

機能性について

機能性の例としては、アディダスの3本ラインやニューバランスのNマークがあります。これは素材を重ねることでウエスト部の伸びを抑え、足を固定する機能があります。そしてボール部はフレキシブルに踵部はカウンターでしっかり固定されています。

今回紹介した靴にもこの考え方が活かされています。例えば羽根の部分はウエストをしっかり固定する役割を持っています。一方でスリッポンやサイドエラスティックなどはこの機能を有しておらず、ウエスト部分の固定はできません。その代わりに裏革などで補強をしています。ただし、補強のため厚くなっている部分が第5中足骨の骨頭付近にあると革が伸びないため足を痛める危険があります。フィッティングの際は注意しなければなりません。素材の重なり部分の確認方法としては、内側と外側の縫い付け位置で判断できます。

靴のかかと部分は縫い割立体的に仕上げています。カウンターポイントまで縫い上げるのではなく、その部分は外して作られています。カウンター部分、特にカウンターポイントは、脱着時に最大の負荷がかかるため、このような工夫により補強しています。

靴底素材について

靴底素材は革底からゴム底(加硫式)、そして合成ゴム底(発泡ゴム)、EVA+合成ゴムへと変遷してきました。年代ごとのトピックとしてはPVC底(1970年代)、ポリウレタン底(1980年代)、NIKEエア(1990年代)、EVAインジェクション(2000年代)、TPU+合成ゴムとなっています。そして近年、厚底でカーボンプレート内蔵したものやアディダスやオンなど複雑な形状のソールが新しい技術で開発されています。

今後の靴のデザイン

アッパーは組み立てて縫製していたのが、自動編み機で一体的につくられ、ソールも新しい素材や技術開発が行われています。デザインする側は新たな素材や造形技術を取り入れるための柔軟な発想が必要となります。新たな素材や作り方により進化する部分もありますが、基本となるスタイルや装飾は今後も受け継がれていくことでしょう。





新 マスター・オブ・シューフィッシング紹介⑥

急増するフットケア・シューフィッターのパイオニア

快適な靴と足WOHLTAT(ヴォールタート)代表 藤井 恵氏



新マスターシューフィッター紹介の6回目は、快適な靴と足WOHLTAT(ヴォールタート)代表で「足・爪お手入れ専門店・ポド」を経営されている藤井恵氏です。

藤井氏は普段、ドイツ式フットケアで足・爪のトラブルを改善し、足に合った靴のアドバイスで「快適な靴と足」を提供するサービスをしています。その他にもラジオ等に出演して啓発活動や「フットケアと靴」関係の指導などを行っています。1か月の75%はご自身が経営する「足・爪お手入れ専門店・ポド」で25%はクリニック、靴店、自宅訪問などで出張フットケアをされています。今回は滋賀県大津市にある「足・爪お手入れ専門店・ポド」にお伺いして、実際にモデルさんを藤井氏に施術していただき、リアルなフットケアを取材してきました。

報告者 原田 繁 研究員

まずは衝撃のビフォーアフターをご覧ください。角質でカサカサだった踵が赤ちゃんのようにすべすべな肌触りに。



施術前



施術後

趾の黒ずみも消えています、顕著なのは爪。特に母趾と右の第二趾は別人のように美くなりました。



施術前



施術後



外見も店内もとてもコンパクトでおしゃれ。藤井さんのイメージにぴったりな素敵で快適なお店です。



フットケア専用の椅子。施術しやすいようにオットマンは左右別々に単独で動きます。



時間を掛けてカウンセリング。お客様に足の状態をしっかりとお伝えすることで信用につながります。ここで靴のフィッティングの話もします。とても大切なことですが、マスターシューフィッターでフスフレーゲマスターでもある藤井さんにしかできません！



ニッパーで爪のお手入れをして、コーンカッターで硬くなった踵の角質を削っていきます。削りすぎると皮膚を傷付けてしまうので、慎重に行います。

施術は2時間近くに及びました。一つ一つの行程にじっくり時間を掛けて、優しく丁寧に施術されます。モデルさんは気持ち良さのあまり眠りそうになったそうです。ミシュランではありませんが、藤井さんのフットケアを受けるためだけに滋賀県に行く価値があります！ぜひ、「足・爪お手入れ専門店・ポド」を訪れてみてください。身も心も大満足の驚きの体験ができます!! (靴屋楽ちんさんのフットケア紹介動画は右下のQRコードからご覧いただけます。)

藤井さんインタビュー

●フットケアセラピストがマスターシューフィッターにまで昇りつめた理由

「足のトラブルは靴で起こることが多い」、いつもシューフィティングの指導で伝えていきます。2018年ドイツ研修でアンケ・ニューデラウ先生の施術を受けた時、私の足・爪を細かく観察し、靴を確認し、靴下を確認して、的確にトラブルの原因を説明されました。その体験で「履物の環境の大切さ」を実感しました。足・爪のトラブルはドイツ式フットケアで改善することができます。でもまた同じ履物の環境に戻ると繰り返しトラブルが起こることもあります。足に合った靴を提案するために、靴の種類や機能、靴型、素材などの靴に関する知識はもちろんのこと、足の形・サイズ、歩行、体や足の機能など、もっと深く学ぶことが必要と感じマスターコースを受講しました。現在マスター・オブ・シューフィティング&フスフレーゲマスターとして活動しています。

●マスターシューフィッターとして今後、取り組んでいきたいこと

足・爪お手入れ専門店・ポドを拠点に「快適な靴と足」のサービスを提供し、お客様の足を守ること。地域貢献・社会貢献ができるように活動すること。それから「フットケアと靴・靴下の大切さ」を伝え、一緒に活動する人を増やしていきたいです。またより良い靴づくりにも貢献し、靴業界を盛り上げていければと思います。



藤井さんのフットケア動画 31万回再生のYouTubeです



トラブル対処法(特別編)

③小学生における紐靴の履き方調査



今回は、2023年9月2・3日に仙台で開催された第37回日本靴医学会学術集会で発表した“小学生における紐靴の履き方調査”について寄稿させていただきます。

メーカーは良靴を企画製造しても、消費者が正しく靴を履いていなければ靴の性能は100%活かされていない、良靴でも、履きにくい、歩きにくい靴となっていないのか疑問がありました。適正サイズの靴を正しく履く、当たり前のことですが、結局、子どもの頃からの生活習慣が影響しているのではないかと、実際、今の子ども達はどのように靴を履いているのか実態調査が必要だと感じていました。

シューフィッターの役割として、正しい靴の履き方を啓蒙していく、靴が発育に関与している子どもの実態を把握して、適切に保護者、教育者、医療機関にも伝える必要があると考えています。本研究が皆様の何らかのお役に立てるなら幸いです。

マスター・オブ・シューフィッシング 管野 博久



小学生における紐靴の履き方調査 (管野 博久 / 島村 雅徳)

【はじめに】

靴は日常生活において不可欠なアイテムであり、正しく履くことは健康的な生活を送るために重要です。特に成長期の子どもたちにとって、靴の適切な履き方は足の健康や姿勢形成に大きな影響を与えられます。本稿では、子どもの靴紐を結ぶ能力と靴の適切な履き方に関する研究を通じて、その影響について具体的に考察します。

【背景】

近年、子どもたちの運動能力や姿勢が低下しているという報告があります。この問題の一因として、靴の適切な履き方が挙げられます。靴紐の結び方や締め具合が不適切だと、足の形成や歩行に悪影響を与える可能性があります。また、スポーツをする際にも正しく履くことは重要であり、スポーツ経験があるかどうかも関連する要因の一つとして考えられます。

【目的】

昨今、靴紐を結べない小学生が増えていると言われています。そこで、小学校卒業時に靴紐を結べない割合、靴が適切に履かれているか、など、靴の履き方の実態を調査したので報告します。

これまで、医療現場から小学生の不適切な靴が原因で下肢障害に至った事例¹⁾や、靴紐を締めないと歩行に悪影響がある²⁾³⁾⁴⁾ことは報告されてきました。また、様々な団体や教育者から成長期における靴と履き方の重要性は示されてきました⁵⁾⁶⁾⁷⁾。しかし、靴の販売現場で感じることは、靴の重要性が教育現場や保護者にも全く周知されていないこと、正しく靴を履いている子どもが少ないとの認識であり、本研究は、その実態を調査し検討することを目的としました。

【方法】

対象は、小学卒業時、岩手県奥州市在住の健常な新中学生の男子122名、女子116名としました。

方法は、中学の上履き購入時、保護者から同意を得られた新中学生にアンケート調査(図1)を実施しました。

設問は、

問① 紐靴を履いたことがあるか、

問② 靴紐を正しく結べるか、

問③ 何歳で靴紐を結べるようになったか、

問④ 靴紐を適度に締めているか、

問⑤ 靴紐をほどいて脱いでいるか、

問⑥ スポーツを何かやっているか、

問⑦ 靴の踵を踏むことはよくあるか、

問⑧ 靴の履く時の動作、

の8項目としました。さらに、靴紐を1分以内に結んでもらい時間超過の場合は不適としました。(図2) また、調査結果から、A群:紐靴を履いたことがない、B群:靴紐を正しく結べない、C群:靴紐を正しく結べる、D群:スポーツをやっている、E群:スポーツをやっていない、に分け調査結果を集計し、それぞれの要因が靴の適切な履き方にどのような影響を与えるかを分析しました。

【結果】

男子122名、A群男子24名、B群男子24名、C群男子74名、D群男子71名、E群男子51名、女子116名、A群女子15名、B群女子26名、C群女子75名、D群女子43名、E群女子73名(表1)(表2)(表3)であった。問①では、男子98名、女子101名が、紐靴を履いたことがある。問②では、男子74名、女子78名が、靴紐を正しく結べる。問③では、靴紐を正しく結べる児童は、平均男子9.5歳、女子8.7歳で靴紐を正しく結べるようになった。(表4)問④では、問①でハイと回答している男子63名、女子65名が、靴紐を締めて履いている。問⑤では、問①でハイと回答している男子19名、女子22名が、靴紐をほどいて靴を脱ぐ。問⑥では、男子71名、女子43名が、何らかのスポーツをしている。(表5)問⑦では、男子51名、女子30名が、靴の踵を踏んでしまうことがよくある。問⑧では、男子50名、女子54名が、つま先を地面に打ちつけて履いている。男子18名、女子10名が、踵を地面に打ちつけて履いている。男子54名、女子52名が、どちらでもない。(表6)(表7)と回答した。

調査結果から、靴の適切な履き方には靴紐を結ぶ能力やスポーツ経験が影響していることが示されました。特に、スポーツ経験がある子どもたちは靴の適切な履き方ができる割合が高く、靴紐の結び方も上手である傾向がありました。一方、スポーツ経験がない子どもたちの中には、靴の着用状況が不適切なケースが見られました。

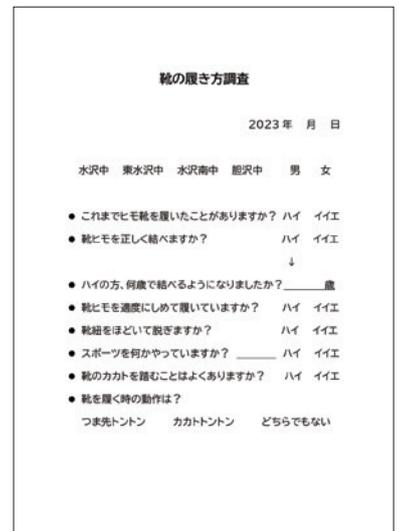


図1



図2

【各群ごとの人数】 (総数：男子122名、女子116名)										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
24名	15名	24名	26名	74名	75名	71名	43名	51名	73名	
問① これまでにヒモ靴を履いたことがありますか？ハイと回答										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
0名	0名	24名	26名	74名	75名	61名	41名	37名	60名	
問② 靴ヒモを正しく結べますか？ハイと回答										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
0名	3名	0名	0名	74名	75名	51名	38名	23名	38名	
問④ 問①でハイと回答している方、靴ヒモを適度に締めて履いていますか？ハイと回答										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
0名	0名	3名	5名	60名	60名	44名	33名	19名	32名	
問⑤ 問①でハイと回答している方、靴ヒモをほどいて脱ぎますか？ハイと回答										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
0名	0名	0名	1名	19名	21名	16名	15名	3名	8名	
問⑥ スポーツを何かやっていますか？ハイと回答										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
10名	3名	10名	3名	51名	38名	71名	43名	0名	0名	
問⑦ 靴のカカトを踏むことはよくありますか？ハイと回答										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
13名	5名	13名	6名	25名	19名	24名	10名	25名	20名	
問⑧ 靴の履き時の動作は？ つま先をトントンと地面に打ちつけて履く										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
10名	7名	17名	11名	23名	36名	23名	19名	26名	35名	
問⑧ 靴の履き時の動作は？ 踵をトントンと地面に打ちつけて履く										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
3名	0名	2名	2名	13名	8名	15名	6名	3名	4名	
問⑧ 靴の履き時の動作は？ どちらでもない										
A群		B群		C群		D群		E群		
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
11名	8名	5名	13名	38名	31名	33名	18名	22名	34名	

表1

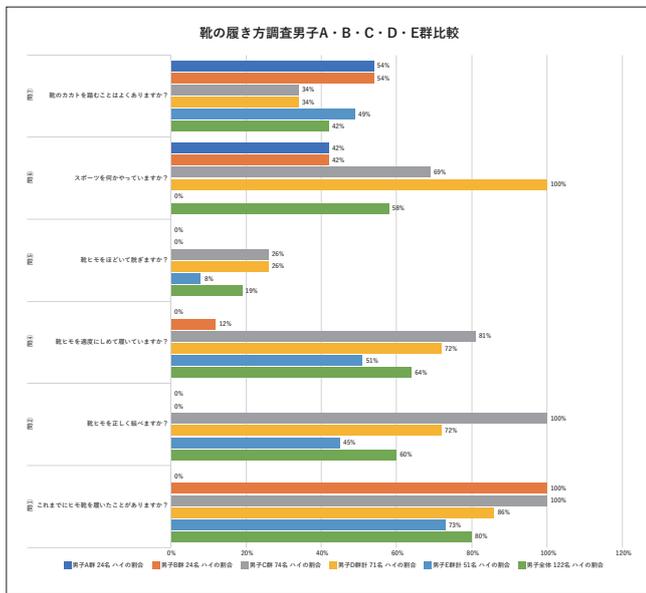


表2

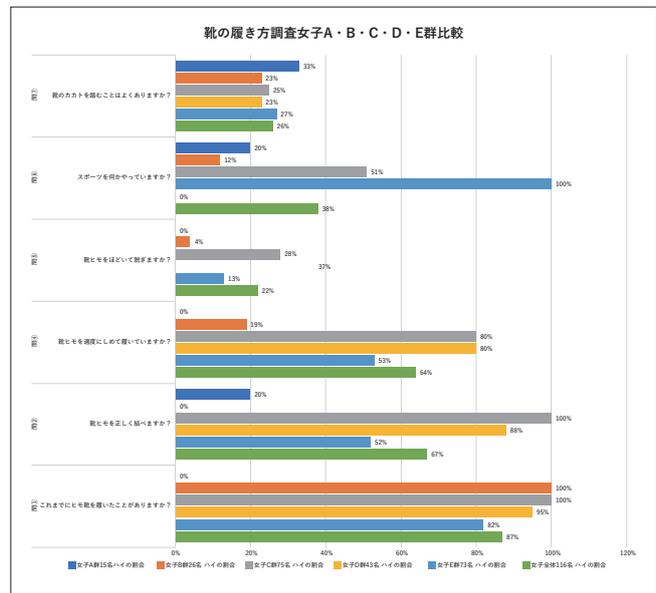


表3

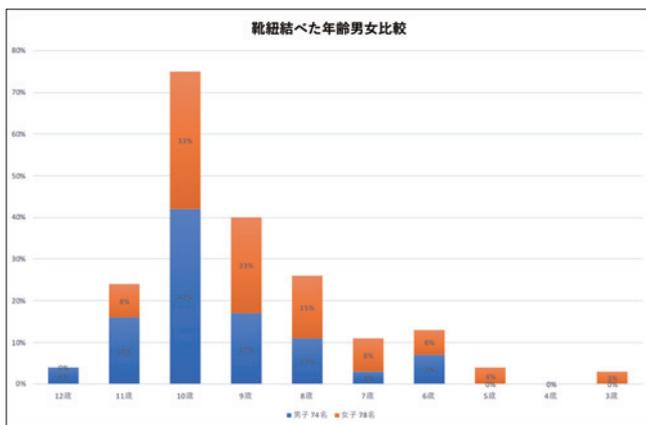


表4

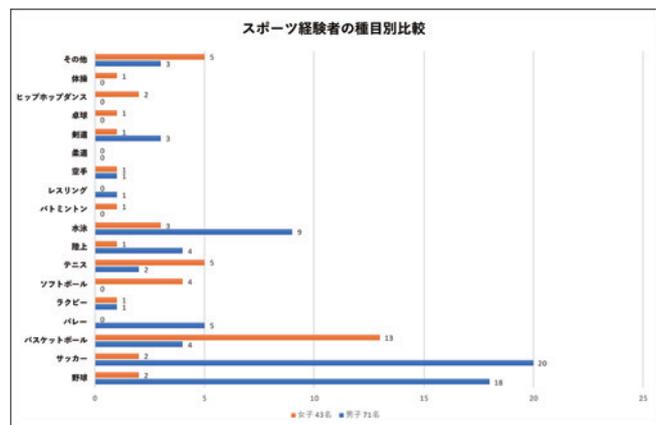


表5

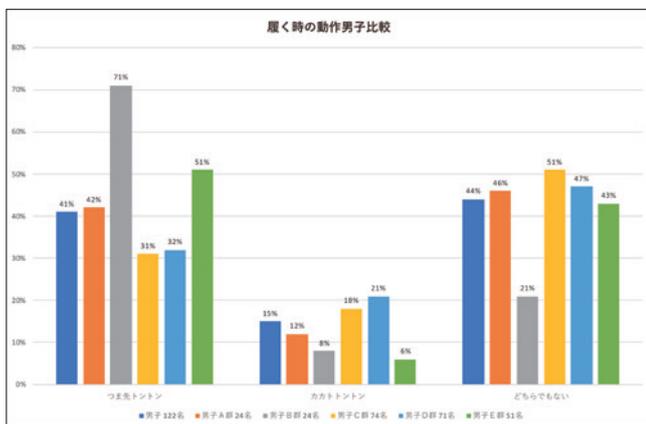


表6

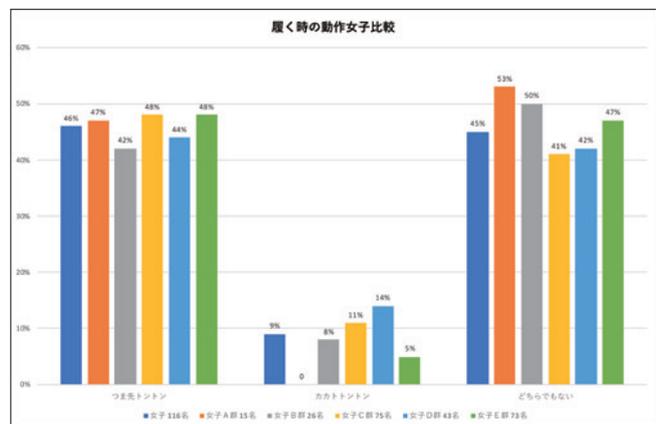


表7

【考察】

小学校卒業時、紐靴を履いたことがない児童の割合は男子19.7%、女子12.9%であり、靴紐を正しく結べない児童の割合は男子39.4%>女子32.8%と一定割合存在しています。靴紐を正しく結べた年齢は、男女とも10歳がもっとも多く、平均年齢は男子9.5歳、女子8.7歳で、女子が男子に比べ早い時期に結べる傾向にありました。

靴紐の結び方に関して、女子の方が男子に比べて上手に結べる傾向が見られました。これは、女子が遊びの中で自然に紐の結び方を覚えることができ、手先が器用である⁸⁾という要因が影響している可能性があります。この結果から、靴紐の結び方を身につけるためには、子どもの遊びや日常生活において、積極的な指導や機会が必要であることが分かります。

さらに、スポーツ経験者は、靴紐を正しく結び、締めて履く割合が高く、スポーツ経験のない子どもは、靴紐を正しく結べ

る割合は高くありません。これは、子ども靴全般に紐靴の割合が減る中で、スポーツシューズを通じ紐靴に接していること、指導者や仲間の履き方を見ていることで、自然に靴紐を締めて履くことを覚える環境にあると推察します。靴の履き方に関する正しい知識や技術は、スポーツ経験の有無に関係なく、全ての子どもにとって重要です。

靴紐を正しく結べても、靴紐をほどかないで脱いでいる割合が、男子80.6%、女子78.2%と高い割合を示しているが、靴を履く時は、靴紐をほどいて結びなおして履いていけば良いが、靴紐を結んだまま緩くして履いている可能性も否定できません。

更に、男子41.8%、女子25.9%が踵をよく踏む、男子14.8%、女子8.6%が踵をトントンと地面に打ちつけて履いている。男子41.0%、女子46.5%がつま先をトントンと地面に打ちつけて履いていると回答しています。成長期の子どもにとって、靴のカウンターに踵を合わせて履くことは、怪我の予防やLHA (Leg Heel Angle) を整えるためにも重要ですが、正しく履けていないのが実態でした。これは、靴の履き方によって姿勢や歩行に影響を与える可能性があるため、靴の履き方に関する教育の重要性を示唆しています。成長期の子どもたちが正しい靴の履き方を身につけることは、健康な姿勢や歩行を維持するために重要です。

本研究では、小学校卒業時に、靴紐を結べない子どもや靴の履き方が適切でない子どもが一定数存在することが明らかになりました。これは、靴の履き方に関する正しい知識や習慣が不足している可能性を示唆しています。特に、脱ぐ時には紐をほどいて緩めてから脱ぎ、履く時には踵をカウンターに合わせ、適宜、靴紐を締めてから結ぶことに関して、適切な指導や練習が必要であると言えます。

ドイツなど靴教育が盛んである⁹⁾と言われている国と、どの程度の履き方の違いがあるのか具体的な違いは分かりませんが、日本においても、靴の履き方に関する教育が必要であることが示されました。靴の履き方に関する教育が普及することで、子どもたちの健康や安全を守ることができると考えられます。靴の履き方に関する教育は、保護者や教育者、医療関係者、シューフィッターが協力して行う必要があります。

【結論】

本研究から、靴教育や健康教育において“正しい靴の履き方”の重要性が示されました。靴の適切な履き方を学ぶことは、子どもたちの健康促進や姿勢形成に直結するため、学校や保護者、医療機関に対して、我々シューフィッターによる啓発活動や指導が必要不可欠です。また、スポーツを通じた靴の着用方法の教育プログラムの導入も検討されるべきです。

【文献】

- 1) 塩ノ谷 香, 片瀬 眞由美, 栗原 薫, 他. 不適切な靴が原因と考えられる成長期の下肢障害. 靴の医学 2008;22(2) 83-88
- 2) 石川 早紀, 東 佳徳, 久保 実, 他. 靴紐を締める・締めないによる小児の歩容の変化. 靴の医学 2020;34(2):15-19
- 3) 伊藤 太祐, 内田 俊彦. 靴紐の締め方が小学生の歩行状態に与える影響. 靴の医学 2020;34(2) 24-29
- 4) 村野 良太, 佐藤 健, 加藤 麻樹. 留め具がない靴のサイズと足長との相違が歩行姿勢に与える影響. Hum Factors Japan 2019;24(1):11-18
- 5) 吉村 眞由美. 子どものための靴教育・シューエデュケーション. 人間生活工学 2013;14(2):19-24
- 6) 内木 勉. JASPE足育の現在～教育現場から見る子どもの足と靴～. 靴の医学 2022;36(2):106-108
- 7) 一般社団法人 日本フットケア・足病医学会. 「子どもの足・靴改革ワーキンググループ」. 小児靴の手引書 2023; chapter(2):14-30
- 8) 川端 博子, 萩生田 伸子, 鳴海 多恵子. 糸結びテストにみる小学生の手指の巧緻性の変化. 埼玉大学紀要. 教育学部 2019;68(1):93-103
- 9) ベーレ ルッツ, ベーレ 操. ドイツWMS規格と日独子供靴環境とその比較. 靴の医学 2022;34(2):116-119



管野 博久 (かんの ひろひさ)

マスター・オブ・シューフィッシング
有限会社かんのシューズ 代表取締役
〒023-0818 岩手県奥州市水沢字東町26-8
TEL 0197-24-8192 FAX 0197-24-8114
e-mail kent.8192kh@gmail.com
URL <https://kanno-shoes.co.jp>



今年度よりバチェラーコース「足型計測」講座を管野氏にご担当いただいております。11月に開催した第1回目の講座は受講生からも大好評でした。来年度の皆さまの受講をお待ちいたしております！
※バチェラー以上の方は管野氏の講座だけ再聴講することも可能です。詳しくはHP「お知らせ」をご確認ください。

IVO福島大会 シューフィッター全国研修会 報告

Ivo Japan Congress In Fukushima

2024年3月2日(土)、3日(日)第19回日本整形靴技術協会学術大会(IVO JAPAN)福島大会において「第2回シューフィッター全国研修会」が開催されました。すぐに実践できる内容が盛りだくさんの研修会で、全国からシューフィッターが集まり交流の場にもなりました。

報告者 西濱 有美(バチエラー・オブ・シューフィッシング)

研修① 「機能解剖学を応用したパンプスの適合性、機能性、外観向上の試み」

座 長：原田 繁(一般社団法人 足と靴と健康協議会 研究員)

演 者：パンプス研究会

島村 雅徳(株式会社シンピオシス)

井戸 明美(ブルネロクチネリ ジャパン株式会社)

澤田 かおる(株式会社卑弥呼)

林 美樹(シューズアテンド)

藤井 恵(快適な靴と足WOHLTAT)

野村 美香(株式会社ジェイアール東海高島屋)

パンプス研究会は、島村雅徳先生とマスター・オブ・シューフィッシングの有志5名により「パンプスを履きたい方に、快適に美しく履いていただきたい」という想いで結成いたしました。



〈第一部 理論編〉

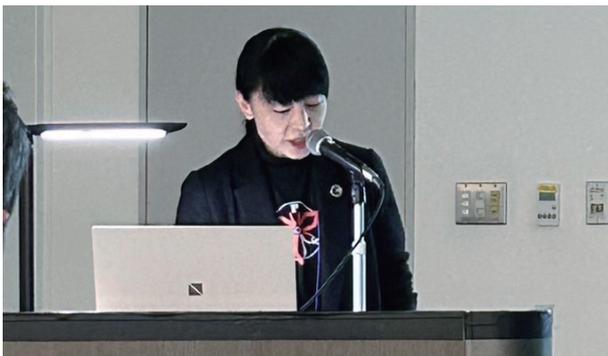
機能解剖学を応用して、パンプス着用時の足の機能性・靴との適合性・外観の全てを向上させるための検証を行った研究結果を報告していただきました。

パンプスを合わせにくい足である扁平足・過剰運動性(柔らかい足)・ハイアーチの3つに着目し、これらの見分け方とパンプスの適合性を向上させる調整方法について、調整パーツを活用してレクチャーしていただきました。



〈第二部 実践編〉

足のタイプ別パンプスの調整として、簡易FPI(足部の回内・回外位を評価)、ベイトンスコア(関節の柔軟性を評価)を活用して足を評価する方法を解説していただきました。事前に扁平足のモデルにパンプスを着用してもらい実施した研究の報告と、会場では扁平足のモデルに実際にパンプスを着用していただきデモンストレーションを行いました。



ジャックテスト(母趾を背屈させ抵抗と巻上げ機構を確認する方法)を体験
後足部内反ウェッジを置くことで母趾の背屈可動域が向上しました。



ペアになって簡易FPIとペイトンスコアの実習
足を評価し、実際に後足部内反ウェッジを使用して足の機能やアライメントが改善するか
確認しました。



研修② 「フットケアと靴・靴下～シューフィティングの大切さを伝える～」

座 長：林 美樹(シューズアテンド)

演 者：快適な靴と足WOHLTAT 足・爪 お手入れ専門店・ポド 藤井 恵

藤井氏はマスターシューフィッター、フスフレーゲマスター両方の資格を持ち、ドイツ式フットケアで足と靴の両面から足のトラブル改善に尽力されています。基本的な爪の構造と足のトラブルについてお話いただき、フットケアと靴・靴下で改善した例と現場ですぐに使える靴・靴下のチェック方法を紹介していただきました。

YouTubeで31万回再生の藤井氏のフットケア動画のQRコード
靴屋楽ちゃん(京都府)フットケア紹介→



靴内寸法を計測する計測器を紹介。靴内を直接計測することで捨て寸を確認できます。



ストッキングや着圧ソックスを簡単に正しく履く方法をレクチャーしていただきました。

趾先に余裕を持たせて履き圧迫させない、など靴下の指導も大切です。

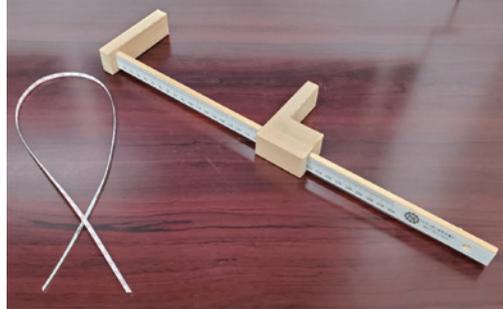


最後に、補習講座でも大人気の日本整形靴技術協会 会長 阿部 薫先生にメッセージをいただきました。

日本整形靴技術協会会長 阿部 薫(新潟医療福祉大学教授)

第2回シューフィッター全国研修会が、第19回日本整形靴技術協会学術大会と併催されました。私はシューフィッター(SF)の教育に関わるようになってからずっと、SFの横のつながりが希薄なことを残念に思っていました。年一回ぐらい、全国のSFが集まるイベントがあってもいいんじゃないかと思い、また、整形靴技術者はSFのスキルを学び、SFも整形靴技術から得られるものがあると考え、Win-Winの関係を築くことを目標にしています。次回は2025年2月15～16日に大阪で開催予定です。多くのSFのご参加をお待ちしております。

簡易計測技術を向上させよう！



読者の中には、プライマリーコースの課題でペドカルテをたくさん採ったけど、いざシューフィッターに認定されてからはなかなか採る時間が無い、仕事でペドカルテを使っていない…という方も多いと思います。ペドカルテの足型計測は高度な計測技術が必要であるために、他の計測法と差別化できるシューフィッターの強みでもあります。

ペドカルテの計測技術を日頃から向上させることはシューフィッターにとって大切なことですが、日々ペドカルテに接することが難しい方もいると思います。そんな時に役立つのが「簡易計測」です。フットゲージ（以下FG）とメジャーを用いた簡易計測は正しい靴選びのためにサイズの目安をつける1つの手段です。

まず、簡易計測には「ペドカルテほどの正確性は無い」ことをここで改めて再確認しましょう。簡易計測を否定しているわけではありません。ペドカルテを採る時間、場所が無い場合、簡易計測は精度の高いシューフィッティング、靴選びに繋げるための有効な手段です。

また、気軽に採取できることで足の計測を身近に感じてもらい、足への関心や興味を喚起することができるので、シューフィッターへの信頼を高める手法としても活用できます。今回は、より正確な簡易計測を行うためのコツをご紹介します。今後のシューフィッターとしての仕事、活動にぜひご活用ください！

研究員 原田 繁

1) 簡易計測がペドカルテより

精度が低い理由を理解しよう。

逆説的ですが「正確に計測できない原因を知る」ことが「正確な計測への第一歩」です。

FGがペドカルテほど正確な計測ができない理由

(1) FGの足への当て方が緩い。

プライマリーコース受講生が提出する50人のペドカルテを確認すると、9割以上の受講生がFGの計測値がペドカルテよりも大きい傾向にあります。

(2) 足長を計測する際のFGの当て方が間違っている。

内ふまずの部分に沿ってFGを足にぴったりと当てている人がいます。そうすると足底縦軸線に対してFGが斜めに当たることになるので、実際の足長よりも長くなります。(写真1)

(3) 足幅を計測する際にFGが脛側、腓側中足点に正確に触れていない。

移動脚、固定脚の幅のあるもの（線）を斜めに脛側、腓側中足点（点）を当てることは、物理的に不可能です。また、腓側中足点は少し足背の内側にありますので固定脚をぴったり当ててはできません。

ここで大切なことは「FGで足幅は完璧には計測できない」ことを理解することです。(写真2)

(4) 側角度がマイナス（だん広足）の場合、FGの足幅はどうしても大きくなります。そういう場合はFGを少し強めに当てて、より正確な計測ができるように塩梅を調整します。



写真1

写真3

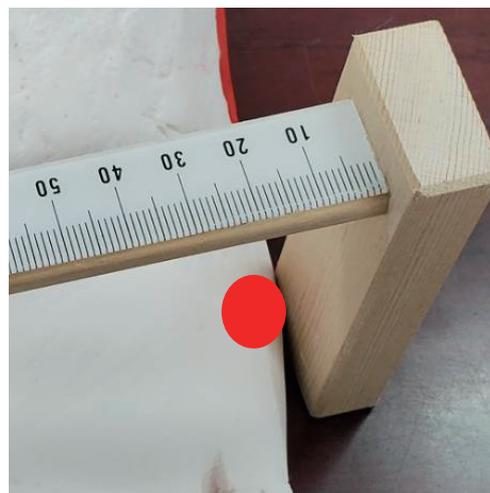
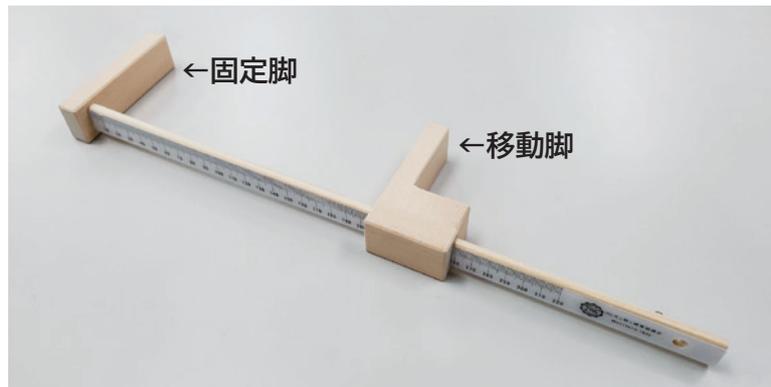


写真2

2) FGでより正確に計測するコツ



(1) 足底縦軸線に平行に当てる。

第二趾点と踵点を結ぶ「足底縦軸線」を頭の中にイメージして、その線とFGが平行になるように脛側から当てます。FGは必ず脛側から当てます。腓側から当てると、足の大きな人だと足先点に移動脚が届かない場合があるからです。FGが足底縦軸線に平行になるように当て、固定脚が踵点に、長尺が脛側中足点に、移動脚が足先点に、以上3点だけが足に触れている状態が正確な当て方です。(写真3)

(2) 脛側中足点、腓側中足点に正確に当てる。

足幅を計測する際は固定脚が脛側中足点に、移動脚が腓側中足点に正確に触れているか確認します。前述したように完璧に当てることはできませんが、少しでも正確に触れることによって、より精度の高い計測値を得ることができます。(写真4)

※移動脚を脛側中足点に、固定脚を腓側中足点に当てると、FGが計測しない方の足に引っ掛かる場合がありますので避けてください。

(3) FGの目盛りを読みやすい位置に持ってきて数値を読む。

足長、足幅を計測したら移動脚が動かないように注意して、FGをそっと動かして目盛りが見やすい位置に持ってきて数値を読みます。特に足幅の数値を読む際に、床に置いたまま読む人がいますが、読み取りミスの一因になりますのでやめましょう。

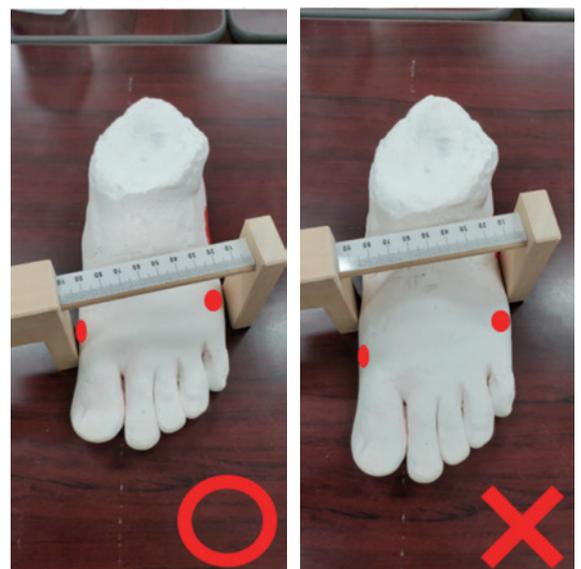


写真4

3) 応用編

簡易計測で使用するFGとメジャーで「足長」、「足幅」、「足囲」の3項目を計測することができます。この3つの項目で足部トラブルの一つである「開張足」の目安を付けることができます。足囲と足幅、両方でJIS判定を行い、その差をみることで横アーチがどれくらい落ち込んでいるか判別することができます。そうすることにより、開張足気味であるかどうかの確認ができます。

※詳しくは、とれでゆにおん73号「現場ですぐに役立つ!ペドカルテの活用方法」講座の記事、またはHPの会員ページにアップされている動画をご確認ください。



第15回幼児子ども専門コース認定者一覧(2024年1月1日認定)



氏名	会社名
小川 奈緒子	
中谷 秀美	
竹内 雅徳	合資会社竹内商店
薦川 香織	
丹 典子	アシックス商事株式会社

氏名	会社名
大倉 紀子	株式会社三越伊勢丹
中村 浩幸	株式会社シューズコンサルタント
紅林 美香	アシックス商事株式会社
松本 考生	株式会社イチマツ化学工業
山崎 聖子	株式会社サンドリームファクトリー

氏名	会社名
山近 大輔	株式会社 SlowFast
生田 目 建	株式会社ワシントン靴店
小林 桂子	株式会社アルファ美輝
村野 良太	早稲田大学

(14名認定)

(受講者の声) フリーランスで未就学児の保護者様に向けて靴選びや足育の講座をする活動をしてきましたが、子ども靴のデザインに携わるようになった事をきっかけに受講しました。歩容と運動の成長について、足の成長や障害について、靴とフィッティングについて、それぞれを専門にされている講師の方から多角的に学ぶことで、靴選びや靴作りで大切にしていける本質を考える素晴らしい機会になりました。他の受講者さん達と協力して進める実習からも学びが深まりました。一人一人違った身体の個性を持ち、暮らし方や運動の背景も違う中で、お一人お一人に寄り添ったフィッティングや講座、子ども達の健康をサポートできる靴を提供していきたいと思っています。
小川 奈緒子

シューフィッターのお悩み・ご相談を募集いたします!

普段のお仕事や活動の中でシューフィッターとして、またシューフィッティングについて困ったり、悩んだりしたことはありませんか?

- ・ お客様のお悩みに上手く対応できず、快適にフィットする靴をご提案できなかった…
- ・ シューフィッターとしての自分の存在をなかなか広められない…

などなど、日頃一人で抱えている悩み事をお寄せください。マスターシューフィッターや事務局などの各分野の専門家に解決方法をお聞きして、次号以降の誌面でご紹介させていただきます(ご相談内容は匿名で掲載いたします)。

日頃のモヤモヤや、普段からちょっと聞いてみたいなあ、と思うことがたくさんあると思います。どんな些細なことでもOKです!

皆さまからのご相談をお待ちいたしております。

**ご相談は事務局へメールでお寄せください。
メールアドレス: fha@tokyo.email.ne.jp**

第24回パッチェラーコース申込み受付中

日程: 2024年7月~2025年3月
スクーリング3日間×3回
・7月24日(水)~26日(金)
・11月13日(水)~15日(金)
・2025年3月12日(水)~14日(金)

会場: 東京・両国 国際ファッションセンター
受講料: 297,000円(税込)



実習が新たに追加

第12回シニア専門コース申込み受付中

日程: 2024年11月26日(火)、27日(水)
会場: 東京・両国 国際ファッションセンター
受講料: 77,000円(税込)



実習がパワーアップ

第16回幼児子ども専門コース申込み受付中

日程: 2024年9月19日(木)、20日(金)
会場: 東京・両国 国際ファッションセンター
受講料: 77,000円(税込)



※日程は変更になる場合がございます。

※シューフィッター検索に掲載しているご登録内容をご確認ください。シューフィッター検索 (<http://fha.gr.jp/search> [左記QRコード]) の絞り込み検索欄にお名前をご入力いただくと検索ができます。掲載内容に変更がある場合や掲載を希望される場合は、事務局までメール又はFAXでお知らせください。

※勤務先や自宅住所等を変更した時は必ず事務局までご連絡ください。連絡が無い場合はとれでゅにおんや補習講座、資格更新の案内等をお届けできない場合があります。

ホームページ FHA/SFC 会員専用パスワード: kmhs7646



〇…とれでゅにおん…〇

“とれでゅにおん”は、フランス語です。英語ではHyphen(ハイフン)にあたります。FHA事業理念をもとにFHA会員、SF、SFC会員の相互を密接に結び情報誌という意味で命名しました。

No. 75 (通算110号) 2024年4月1日発行
〈編集・発行〉一般社団法人 足と靴と健康協議会

〒111-0032 東京都台東区浅草 7-1-9
Tel. (03) 3874-7646 Fax. (03) 3875-0880
Email fha@tokyo.email.ne.jp URL <http://www.fha.gr.jp/>

禁・転載複製